

カスタムCDが作る『音楽シーン』
SMEいよいよ音楽配信開始!



12月20日にソニー・ミュージックエンタテインメントが有料の音楽配信を開始した。これは、もう、単なるレコード会社の話題ではない。インターネットで音楽をダウンロードして購入するという時代が当たり前のようにやっぺこうようとしているのだ。

疾走する ワンパッケージ ミュージック

本格的に ダウンロードする音楽がスタート 大きな一歩を静かに踏み出した ソニー・ミュージック

漫画「部長 島耕作」では、主人公が電気メーカーから音楽ビジネスという「異業種」に乗り込んで、旧慣習と対立しながらも最後にはビジネスを成功させるというストーリーだ。ここで、どうせならこの万能な主人公をネットワーク音楽配信ビジネスに取り組みさせてはどうだろうかと思う。なぜなら、現実には劇的で複雑な側面を迎えているからだ。そして、その1つの側面は現在のソニー・ミュージックエンタテインメントに見て取れる。 文 前田邦宏

違法MP3がSMEを踏み切らせた

音楽業界最大手のソニー・ミュージックエンタテインメント（SME）が、1999年12月20日よりメジャー初のネットワーク音楽配信ビジネスbitmusic（ビットミュージック）を開始した。SMEが先陣を切って配信ビジネスに乗り出したのは、ハードとインフラを組み合わせたソニーグループとしての戦略もあるが、昨今のCDを不法に複製したMP3にファイルの広がりや著作権ビジネスの根幹を揺るがしかねない状況となっているのも大きな要因だ。

もともとインターネットは誰もがコンテンツを発信することが魅力のメディアなのだが、魅力あるコンテンツを誰もが創れるわけではないというのもまた事実だ。ましてや、金と時間をかけてプロモーションした音楽コンテンツをMP3などによって不法複製されてしまうと、「音楽の創造のサイクル」が崩れ、結果的にリスナーのもとに新しいコンテンツが届かなくなり、業態が崩壊しかねない。このため、レコード会社はこれまで連携してきた小売店の売り上げを損なう危険性を考慮しながらも、自らが有料配信を始めることで業界の秩序を保つ必要があったのだ。

ノンパッケージはまだ一過性

SMEダウンロードプロジェクトの加納氏は、「音楽産業はパッケージビジネスの上に成り立っているという前提のもとに音楽配信ビジネスを行う」と語り、あくまで配

信はパッケージの販売促進およびマーケティングに活用するという考えを前面に示した。新曲発売においてもアップロードする時間はCD発売当日の午前0時ではなく、午後0時と小売店舗の開店後にするなど細かい配慮がなされ、ノンパッケージ側に付加価値を付けてはいることからもそのことがうかがえる。

彼ら自身も「インターネットで配信される音楽は、ダウンロードしたコンピュータからほかのコンピュータにコピーできないため、結果としてパッケージに比べて一過性のものになってしまう」（加納氏）と捉えており、ハードカバー書籍に比べてペーパーバックのような存在と見なしている。実際、再生用の鍵（Music Key）はハードディスク間の移動が不可能なため、クラッシュしても再発行してもらえない。これらの慎重な配慮は今回のサービスそのものの魅力を半減させることにもなるが、SMEは「CDショップに足を運ぶ若いリスナーと比較的年齢の高いインターネットユーザー層の違い」から、

かつて音楽を楽しんでいた人に対して再度音楽を購入するきっかけとなるように、この配信を多面的に活用する予定だ。

一方で、彼らが配信する音楽はこれから発売されるほぼ全アーティスト（J-POPから演歌まで）の新曲だということに、ノンパッケージに対するある種の意気込みを感じさせる一面もある。

SMEは音楽配信サービスの開始にあたって極めて慎重に「静かな」第一歩を踏み出したわけだが、それは業界全体が後戻りできない大きな一歩になったに違いない。「採算はすぐには見込みめない」（加納氏）と言うことだが、結果的にユーザーにもアーティストにも還元される「新しい音楽創造のサイクル」の礎となることを期待したい。

bitmusic
bit.sonymusic.co.jp

サービス開始時は写真の人気アーティスト（上左からL'Arc〜en〜Ciel、Hysteric Blue、佐野元春、下左からchara+yuki、the brilliant green、電気グルーヴ）を含む43アーティストの最新曲が配信された。今後はSMEから発売される全アーティストの新譜がラインナップに加わる予定。



世界中のインディペンデントレーベルが 1枚のCDに カスタムCDが作る オルタナティブな音楽シーン

リスナーの好みの楽曲を組み合わせて音楽を1パッケージにする。DUCTIVEは早くからこのサービスに取り組み、インターネット上でカスタムCDの製作サービスを提供している。この手のサービスではコンテンツ不足が問題となるが、DUCTIVEでは、世界中のインディペンデントレーベルと提携することで、これを解消しているだけでなく、「インディペンデント」というオルタナティブな音楽シーンの一端を担っている。

文 原 雅 明

レーベルの賛同が『カギ』となる

DUCTIVE（シダクティヴ）は、3年前にパリ郊外にある大学院で一緒のクラスをとっていた3人のアメリカ人留学生たちが、卒業用のプロジェクトにインターネットを利用したカスタムCD販売のアイデアを提案したことから始まった。カスタムCD販売とは、好きな曲を1曲単位で購入でき、それをCD-Rに焼き付けて自宅まで送り届けてくれるサービスだ。つまり、DUCTIVEは通常のCDの形態でのパッケージ購入と曲単位のダウンロード購入を折衷するような形で、アメリカで急速に成功を収め、この手のビジネスでは異例なほど大きな注目を集めた（現在ではMP3形式でダウンロード購入も可能となっている）。しかし、その成功の秘密は単にシステムだけにあるのではない。多くのインターネット上の音楽配信ビジネスが陥っていた「コンテンツ不足」という問題を初めから覆してみせるだけの確固たるビジョンが備わっていたのである。

「ダンスミュージックに焦点を絞ってきたことで、リスナーにとって魅力的な楽曲コンテンツ、音楽カタログを構築できたことに尽きると思います。いままでのほかのサービスは音楽ジャンル全般でのレーベル獲得を目指して、結局充実した音楽カタログを構築することができませんでした」

ずばりDUCTIVEがアメリカにおいて成功した理由は、という問いに、DUCTIVE Japan代表の滝日伴則氏はこう答えてくれた。DUCTIVEは設立当初から、シーンで

中心的な役割を果たしてきた多くのインディペンデントレーベルに参加を呼びかけ、賛同を得てきた。たとえば、アルマンド・ヴァン・ヘルデン（ストリクトリー・リズム）、エイフェックス・ツイン（R&S、リフレックス）、ロニ・サイズ（フル・サイクル）、コールド・カット（ニンジャ・チューン）、ハウイB（プッシー・フット）といったアーティストおよびそのレーベルと次々と契約を結んでいった。ダンスミュージックを中心とするシーンとは、メジャーが必ずしも力を持ったり成功を収めたりするとは限らないシーンと言い換えてもいい。DUCTIVEはそのシーンを形成してきたインディペンデントゆえの自由度や創造性、リスナーからの共感や支持といったものを、インターネットを使うことで、本質を損なわずに拡げていくことを目指したのだ。

「もともと、我々が単純にダンスミュージックが好きだったんですが、それには、既存のCDショップでなかなか手に入りにくい種類のものが多く、だから、インターネットでカスタムCDという形で提供することに意味があったのです。また、インディーにとっては決して健康的とは言えない既存の音楽業界の構造を変えていきたいということもありました」（滝日氏）

レーベル契約を始めてから1年にも満たない1998年5月には、すでに100のレーベルと契約を結び、その後は、インディーロックやアンダーグラウンドヒップホップのレーベルとも契約にこぎ着け、現在、契約レーベル数は350に上っている。そして、2000年



DUCTIVE
Jump www.ductive.com

カスタムCDからMP3のダウンロードまで、1曲1ドル程度と低価格で提供されている。このサービスによって、世界中のインディペンデントレーベルから集められた質の高い楽曲を誰もが手に入れられる。

春、本格的にCDUCTIVE Japanがスタートする予定だ。日本の小さなレーベルとも契約を結び、海外へ積極的に紹介する役割も担っていくことになるだろう。

真の意味でのインディペンデント

しかし、CDUCTIVE Japanは、日本固有の問題にも直面している。楽曲の権利関係がアメリカのようにレーベルがすべて管理しているわけではないので、デジタル配信を行う以前の権利処理の難しさや、JASRACの独占的な管理の問題、クレジットカードの利用料の高さや使用率の低さ、それに代わる少額決済システムのスタンダードが確立されていないという問題などは、今後の市場形成において早急に解決されていかなければならないだろう。そんな新たな展開が予想された時期に、CDUCTIVEが音楽デジタル配信会社であるEmusicに買収されたというニュースが飛び込んできた。

「買収とはいってもEmusicは音楽ジャンル全般を取り扱う会社であり、すでに100

億円以上の投資を受けており、CDUCTIVEにとっては資金力を確保できたことでいい結果ではあるのです。CDUCTIVE Japanでは、ホームページの日本語版制作および運営を主に行なっていきたくと思っています。日本のリスナーの好みを反映したコンテンツを多く提供していきたいのです。また、定期的にイベントなども行っていこうつもりです」(滝日氏)

早くも、そのCDUCTIVE主催による1回目のイベントが、先頃、渋谷のクラブ、Herlemで行われた。フレア(ケン・イシイの別名義)、ススム・ヨコタ、レイ・ハラカミ、リョウ・アライなど、今後日本側のコンテンツに含まれる予定のアーティストやそのレーベルが参加して(海外からはハーバートとバックファンク3000も参加)大盛況の内に終了した。まだ本格始動していないCDUCTIVE Japanだが、豪華に作られた入れ物ばかりが話題となってきた日本の音楽配信ビジネスの中で、ようやく地に足の付いた、十分に使える、そして楽しめる、本当の意味でインディペンデント/アンダーグ

ラウンドという言葉が似つかわしいコンテンツを持ったサービスが登場してきたことを実感できるはずだ。

Emusic
Jump www.emusic.com

ductive presents digital convenience #1 1999.11.22 渋谷Herlem

CDuctive主催によるパーティーが渋谷のHerlemで開催された。DJはフレア(ケン・イシイ)、ススム・ヨコタなど豪華な顔ぶれ。



Online Music Review

ソニー・ミュージックエンタテインメントというメジャーの音楽配信によって本格的なオンラインミュージック時代が幕をあげた。2000年はさらに多くのメジャーが参入してくるはずだ。しかし、ここではメジャー、インディペンデントに捕らわれることなく最良の音楽を紹介していくつもりだ。自分の耳で確かめてほしい。



OOPS!
oops.jpweb.net

サイトを完全リニューアル。さらに見やすくなったOOPS!。レビュー、ニュース、各種情報など誰もが投稿できる音楽ポータルサイトとして業界人も注目している(?)、自らの手で新しい音楽シーンを作りたい人はアクセス必至!

Greatest Hits / Beastie Boys

www.musicmaker.com

フォーマット: カスタムCD
価格: \$17.85 (発送手数料別)
関連アーティスト: The Beatles, The Rolling Stones



これこそ究極のベストアルバム!!

1986年に大ブレイクを納めたメジャーデビューアルバムこそないものの、セカンド以降の全アルバムに加え、シングルカップリングや地域限定発売、果てはプロモーションだったレア音源まで、ありとあらゆるピースティーズの曲から、トータル148分まで自由に選び、それらの曲を2枚のCDに焼いて通販してくれるという、究極のベストアルバム企画。これぞバブリックデマンド! ボウイもやっしてほしい!

(鷲見和男)

Tony Adams / Joe Strummer & The Mescaleros

www.amazon.com/exec/obidos/subst/music/download/joe-strummer/js-main.html

フォーマット: リキッドオーディオ/AAC/96Kbps
価格: 無料 (試聴期限: 無期限)
関連アーティスト: The Clash, Bob Marley



ジョー・ストラマーだけ!

ニューウェーブおやし同朋諸君! ジョー・ストラマーの登場だ! ザ・メスカレロスなんていう新バンドだけど、「サンディニスタ!」の魂を思い出すルードなレゲエでカッコイイやら懐かしいやら.....(涙)。ネットワーク時代になっても「俺たちのロックはザ・クラッシュなんだ!」って胸を張って言える機会ができて嬉しうす。アルバムは1999年11月上旬に米国で発売されているので、ぜひ買しましょう!!

(鷲見和男)

Crazy Logic / G Love & The Special Sauce

www.launch.com/promotions/sdzoo0/

フォーマット: ウィンドウズメディアオーディオ
価格: 無料
関連アーティスト: John Spencer Blues Explosion



G ラブ節の真骨頂!

G ラブです。ご存じのように、当然のものとしてヒップホップを通過している世代によるブルース新伝承派の最右翼です。「ブルースとヒップホップを融合」させているのではなく、もう単純に同じものなんですよ。この人の中では、だからラップスタイルのボーカルも、別にヒップホップの意匠を借りてきたんじゃないでブルースそのものに聞こえる。しかし、これ1曲です。アルバム未収録ですよ。

(川崎和哉)

Ivan's Vibrations / Spaceman Spiff

artists.mp3s.com/artists/35/spaceman_spiff.html

フォーマット: MP3
価格: 無料
関連アーティスト:



ワイルドなジャズグルーヴ

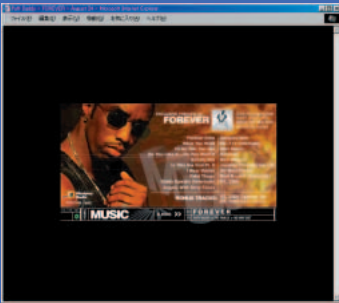
扱いはアッシュドジャズですが、ソリッドでロック的なワイルドネスがあるファンクです。若々しいです。そう言えば初期のプランニュー・ヘヴィーズもライブではかなりワイルドで、元パンクかもと思わせるところがありました。この曲にもちょっとラフでザラリとしたグルーヴがあります。強烈なキャラがあるわけじゃないんですが、人をグイと引き付ける説得力のある引き締まった演奏です。

(川崎和哉)

Forever / Puff Daddy

Jump www.puffdaddy.com

フォーマット：ウィンドウズメディアオーディオ
(ストリーム)
価格：無料
関連アーティスト：Notorious B.I.G.



よっ! 若大将、太っ腹!

弱冠28歳にしてレーベル社長であり、大物プロデューサーであり、一流アーティストであるところの「パフ・ダディ」ことショーン・コムズ。彼のオフィシャルサイトには、最新アルバム『Forever』の全曲目 + オンライン版のボーナストラックとしてファーストシングル『P.E.2000』のスペイン語版がそれぞれフルで掲載されている。ただし、ストリームのみで保存不可なところはさすがビジネスマン。

(一瀬大志)

file under futurism (grooveprotocol mix) / DJ Spooky vs. Freight Elevator Quartet(Single)

Jump artists.mp3s.com/artists/50/dj_spooky_vs_freight_elev.html

フォーマット：MP3
価格：無料
関連アーティスト：



イルピエント最終戦争!?

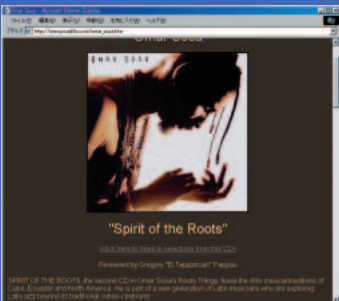
片やイルピエント番長DJスプーキー、片や生楽器とエレクトロニクスのハイブリッド戦隊フレイト・エレベーター・カルテットが激突するナンバー。音のオブジェクト群がそれぞれに明確な存在感を主張していて、それらがせめぎ合いながら疾走していきます。つい息を吞んでしまう緊張感があります。エキセントリックでハードコアなジャングルです。暗いです。しかし、アグレッシブで強く美しい音楽です。

(川崎和哉)

It's My Head / Omar Sosa

Jump www.picadillo.com/omar_sosa.htm

フォーマット：リアルオーディオ
価格：無料
関連アーティスト：



アフロキューバンサウンドの最前線

キューバブームで音楽にも注目が集まっている中、アメリカ西海岸を拠点に、キューバをルーツにジャズとヒップホップに大きな影響を受けた新しいアフロキューバンサウンドの急先鋒的存在として話題なのが、オマール・ソーサ。彼の2枚のアルバムから数曲をフルで聴ける。ほかに、新旧取り混ぜたキューバンアーティストたちの楽曲が実にセンス良くリストアップされている。要チェック。

(原 雅明)

Ms. Fat Booty / Mos Def

Jump www.mjucce.com/mjuice/song_detail?id=1228

フォーマット：MJF
価格：無料
関連アーティスト：Talib Kweli, Q-Tip



ヒップホップ界のモテモテ男

いまやDJ KRUSHからスクリティ・ポリティまでさまざまなアーティストと競演し、「健全なBボーイなら彼の声を聴かない日はない!」と断言できるヒップホップ界のモテモテ男、モス・デフ。この音源は先日発表された初のソロアルバムからの1曲で、MP3を独自拡張したセキュアフォーマット「MJF」形式で配布されている。再生に必要なプレイヤーも同サイトからダウンロード可能。

(一瀬大志)

Tour de France / Terre Thaemlitz

Jump www.comatonse.com

フォーマット：リアルオーディオ
価格：無料
関連アーティスト：



本気! ピアノ版クラフトワーク

激シブのディープハウスをリリースすれば超実験的な電子音響作品もリリースし、かと思えばクラフトワークやゲイリー・ニューマンの曲を自動制御のピアノ演奏で披露し、また一方ではドラッグクween(!!)という、あまりにも謎に満ちあふれた電子音楽家テリー・テムリッツ。彼自身のレーベルComatonseでようやくオーディオファイルが公開。まず聴くべきはクラフトワークのこのブツ飛びカバーでしょう。

(原 雅明)

暮れてゆく空 / (at dusk) / 高野 寛(single)

Jump www.h-takano.com/HAAS_home/sounds/sounds.html

フォーマット：リアルオーディオ
価格：無料
関連アーティスト：Todd Rundgren

高野寛って覚えてますか?



“虹の都へ”のヒット以降、表舞台からは遠ざかっている高野寛の曲。すべて彼個人で運営されている本来の意味でシンガーソングライターらし、高野の個人サイトから、アルバム“Tide”が全曲試聴できるページの中で、この楽曲は、彼独特の爽やかならどこかたそがれた雰囲気の高野の持ち味もさらっと出ている佳作。なぜだか一般的に過小評価されがちで、知る人ぞ知る存在になってきているのは寂しい。

(山田次朗)



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp